

# ものれーる



武蔵村山市 都市整備部  
多摩都市モノレール推進担当  
TEL042-565-1111 (代表)

## 市民との交流活動報告！！

### 武蔵村山市立小中一貫校村山学園5年1組 児童による取材が行われました！！

平成24年1月24日(火)に、武蔵村山市役所4階中部地区会館404休養室を会場とし、武蔵村山市立小中一貫校村山学園5年1組の児童により「多摩都市モノレール延伸に関する武蔵村山市の取り組みについて」の取材が行われました。

当日市役所を訪れたのは、5年1組の担当教諭と選抜児童6人の計7人の取材メンバーで、取材は、児童6人によりインタビュー形式で行われました。

6人の児童達は、マイクを片手に交互に交代しながら、モノレール延伸に関する様々な質問を行い、市側の受け答えについて、真剣な表情で取材メモを取っていました。

取材後に、子ども達からの手紙と取材へのお礼状が届き、そこには、児童達は、取材内容を元に「君が主役だNHK放送体験クラブ」で番組作成を体験したと書かれておりました。



真剣に取材メモを取る児童達



元気いっぱいの子どもたちと先生!!

今後は授業の中で作成したDVDを校内放送で流す等、様々な取組を行うそうです。

村山学園5年1組の皆さん、前日から降った雪が残り、足下が悪い中、市役所に取材に来ていただき誠にありがとうございました！！

将来を担う児童達のためにも、市では、今後も多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期実現に向け、様々な取組を行っていきます。

## 多摩都市モノレール株式会社との連携状況報告

# ウォーキングイベントを実施しました!!



スタート地点（上北台駅）

平成24年2月18日（土）に、多摩都市モノレール株式会社及び西武鉄道株式会社共催により、「春を探しに狭山丘陵から水面輝く多摩湖へ」と題し、ウォーキングイベントが開催されました。

前日夜に少し雪が降り、当日は気温も低く寒風が吹きすさぶ中、約1,000人の方々の参加をいただきました。

### 当日のコース概要

全 長：約11km

歩行時間：約2時間20分

上北台駅（スタート）

- 眞福寺 → 軽便鉄道跡トンネル群
- 武蔵村山市立歴史民俗資料館 → 山口観音
- 多摩湖畔
- 西武ドーム→遊園地西駅（ゴール）



空堀川上流端付近



ゴール地点（遊園地西駅）

本市周辺エリアでのウォーキングイベントの開催は、平成23年度は今回で2回目となりました。

市では、今後も多摩都市モノレール株式会社をはじめとする鉄道各社と連携し、各種イベントの開催に協力する予定ですので、皆様奮ってご参ください。

## 講演会を開催しました!!



子どもたちのダンスで幕開け

平成24年2月26日(日)に、モノレールを呼ぼう!市民の会主催、武蔵村山市及び武蔵村山市商工会後援により、「モノレールの早期実現へ!!」“モノレールで新しい街を創ろう”と題し、講演会が開催されました。

当日は、平成24年度第6回村山デエダラまつり DanceDelight 入賞チームによるダンスで幕が開け、続いて社団法人日本モノレール協会専務理事である日野祐滋氏により講演が行われました。

講演は、多摩都市モノレールの現状、整備方法と財源、経営状況、整備効果、まちづくりに関する基本的な考え方、沖縄都市モノレールの事例及び多摩都市モノレール延伸整備の実現に向けすべきこと等について行われ、モノレールが環境に優しい交通機関であること及び将来は利用実績が東京モノレールを上回り、日本一になる勢いであること等が紹介されました。

講演では、参加者から耐震性の問題等について質問を受けましたが、地震にも強い構造物であるとのことで、モノレールの安全性についても確認ができました。

講演会には、武蔵村山市長、副市長、教育長、市議会議員及び市議会議員の方々並びに商工会長をはじめ、東大和市長、市議会議員、商工会副会長及び瑞穂町長、町議会議員の方々、商工会正副会長並びに地元選出の都議会議員の方々も参加され、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期実現に対する熱い思いを述べられました。



講師: 日野祐滋氏  
(日本モノレール協会専務理事)



講演の状況

講演会は、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸に実現に向けた、参加者全員による「頑張ろうコール」で幕を閉じました。

また、講演会では、参加者の皆様に対し、講演会の内容、延伸を実現させるために重要なこと及び市民の会の活動に必要なこと等についてのアンケートを行い、皆様から貴重な御意見をいただきました。

今後も市民の会では、今回のアンケートで皆様からいただいた御意見等を踏まえ、市とも連

携し、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期実現に向け、引き続き延伸区間沿線の住民の皆様と一緒に要望活動等を展開して行くとのことです。

皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

**「ものれーる」に対する御意見・御感想を是非お寄せください。**

Eメールでの投稿 [tamamono@city.musashimurayama.tokyo.jp](mailto:tamamono@city.musashimurayama.tokyo.jp)